

平成28年度 諏訪社会科教育研究会 夏季研修会報告

共催 諏訪地理研究会
社会科委員会

- 1 実施日時 平成28年8月1日(月)・8月2日(火)
- 2 参加者 教育会会員19名 会員以外1名 計20名
- 3 実施内容

(1) 臨地研修

今年度は湖北地区・下諏訪町内において臨地研修を実施しました。臨地研修部の先生方、地元講師の先生方からお話を伺い、学び合いました。

《中山道 樋橋茶屋跡》

樋橋村の誕生は寛永11年(1634)年。和田宿から下諏訪宿までは非常に道のりが長いため、その途中で茶屋が開かれました。平成24年に宿場景観の復活を願って、看板と碑が設置されています。

《浪人塚 水戸浪士の墓》

元治元(1664)年、尊皇攘夷を掲げ水戸藩を脱藩した浪士軍が京へ向かう途中、阻止しようとした高島、松本藩と激突した場所です。その戦死者を悼んで、塚が建立されています。

《星ヶ塔黒曜石原産地遺跡》

和田峠近くの東俣国有林内にあるこの遺跡は縄文時代の黒曜石が発掘された大変貴重な遺跡です。平成27年3月に正式に国史跡として指定されました。

《下諏訪町東俣浄水場》

湧水・地下水が中心となっている諏訪地方の水源ですが、下諏訪町は表流水(東俣川)が中心になっています。実際に取り入れを行っている浄水場設備を見学しました。

《中部電力落合発電所》

砥川が東俣川と分岐するあたりに「落合水力発電所」があります。入口の門柱には「落合発電所・諏訪地方電気発祥の地」と書かれた看板、構内には「諏訪地方に電気を送って百年」という説明板が建てられています。

(2) 授業実践報告会(下諏訪南小学校にて)

- ・高島小学校 4年生の実践
単元名「まるやさんの工夫をみつけよう」 渡辺 克弥 先生
- ・諏訪南中学校 3年生の実践
小単元名「第二次世界大戦と日本」 丸山 勇樹 先生
事前授業の「成果」と「課題」を要点的にまとめていただきました。

(3) 講演会 「“アクティブ・ラーニング”、小さくして取り組もう！」

講師 帝京大学教職大学院教授 澁澤 文隆 先生

「アクティブ・ラーニング」を成立させる要素について、実際に授業に導入するにあたっての工夫等を、中学校地理的分野の教科書を使いながらグループワークを行う中で教えていただきました。

(4) 授業構想検討会(諏訪教育会館にて)

- ・高島小学校 9月14日(水) 授業者: 渡辺 克弥 先生(小4)
予定している単元「のこしたいもの、つたえたいもの」
- ・諏訪南中学校 9月 2日(金) 授業者: 丸山 勇樹 先生(中3)
予定している単元「現代の日本と世界」
秋の実証授業に向けて、熱のこもった検討が行われました。

4 反省等:

- 日頃なかなか足を運べない場所に行くことができ、実際に目で見て学ぶことの大切さを実感しました。“社会科の教材研究は足で稼ぐことが大切である”と再確認しました。～参加者の声より～
- これからの学習は「アクティブ・ラーニング」の導入が重要視されているが、現実的には中学校の現場で毎時間行うのは難しい。澁澤先生の提唱される「小さなアクティブ・ラーニング」で授業の中の一場面でも子どもたちが主体的に活動する場面を取り入れていきたい。
～参加者の声より～
- 多くの先生方に参加していただいた。社会科教育研究会員・教育会会員以外の方にも参加していただけるよう、PR方法等を工夫していきたい。

